



米国訴訟の全体像

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）
パートナー弁護士・ニューヨーク州弁護士
法学博士（Ph.D.） 井上 朗

Baker McKenzie.

© 2020 ベーカー&マッケンジー法律事務所 (外国法共同事業)



PRIVATE AND CONFIDENTIAL

米国訴訟の特徴・問題点

- ✓ **請求原因が極めて広範である**
 - マクドナルド訴訟、缶ビール訴訟など
- ✓ **懲罰賠償及びクラスアクションにより、損害賠償金額が多額に及ぶ**
 - 自動車部品カルテルの事案では100億円前後の和解もめずらしくない
- ✓ **日本の法制度とは訴訟制度の仕組みが異なる**
 - Litigation holdに失敗するだけでリスクがある
 - Discoveryは重い負担である
- ✓ **日本とは訴訟に対する環境が異なる**
 - Ambulance chaser
- ✓ **米国訴訟は大リーグである**
 - NPBとは球場もボールの質も異なる
 - NPBとは平均球速も異なる

米国訴訟の特徴・問題点

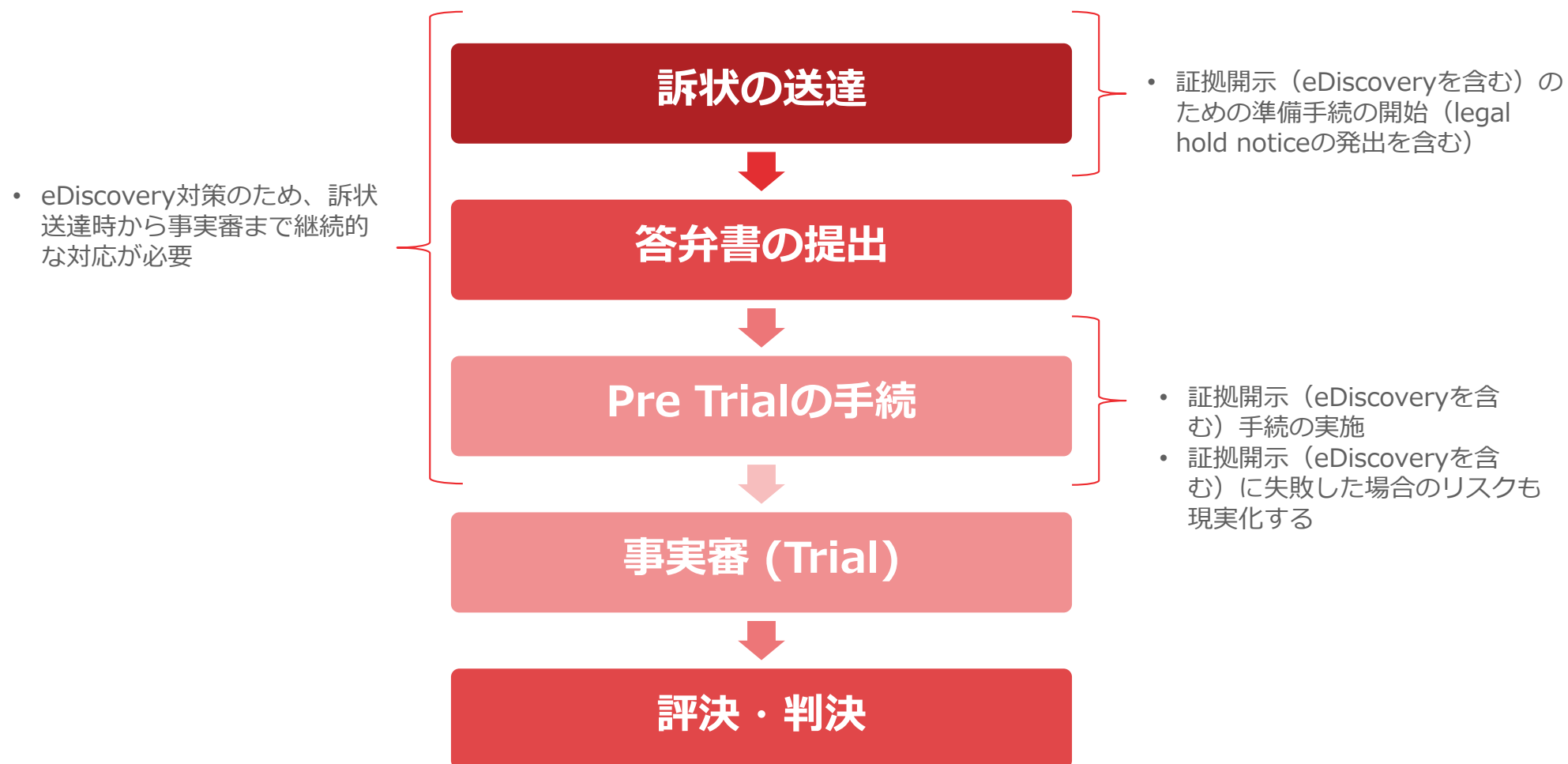
米国訴訟の市場環境

(概算、\$1=¥110)

項目	内容
売上800億円以上の米国企業を対象	上位90%の訴訟件数の企業が、平均して抱える訴訟数 147件
1件当たりの訴訟費用	平均1.7億円 (弁護士費用のみ) (エコノミストの費用は含まない)
米国の上位500社	訴訟に関する支払金額 22兆円 (純利益の33%に相当、2016年)
米国と日本の弁護士数	米国 100万人 VS. 日本 3.2万人 (米国人口3億人 VS. 日本人口1.2億人)

出所：e-Discovery for Dummies、弁護士白書をもとに作成

米国訴訟の全体像



弁護士プロフィール



井上 朗 (Ph.D.)

パートナー
東京

03 6271 9463

akira.inoue@bakermckenzie.com

学歴

- 中央大学法学部法律学科卒業
- 中央大学大学院法学研究科博士前期過程修了
- ヴァージニア大学ロースクール修了 (Master of Laws with distinction)
- 法学博士 (中央大学)

弁護士会・所属

- 第一東京弁護士会登録
- ニューヨーク州弁護士登録

プロフィール

20年以上にわたり、クロスボーダー性の高い独占禁止法・競争法案件に一貫して対応してきており、これら分野では国内外の企業及び政府関係者から高い評価を受けている。米国司法省との司法取引における日本企業の Defense Counsel 経験は15年以上に及び、これまで12件の司法取引を纏めている。また、日本の刑事事件において無罪判決を取得した経験も有する（東京地裁平成21年（わ）第2096号事件）。日本企業を代理した国際カルテル案件の Lead Counsel を10年以上に渡り努め、直近では、United States v. KYB Corporation では、反トラスト法の歴史上2回目となる Compliance Credit を勝ち取り、40%の罰金額の減額に成功する。Chambers Asia、Who's Who Legal 及び The Best Lawyers in Japan において反トラスト法部門の「Leading Individual」に選出されている。日本経済新聞社弁護士ランキング2018年（国際経済法・通商法分野）第9位。EU競争法の手続と実務（全訂版）（民事法研究会）等、反トラスト法・競争法分野における著書・論文102本以上。

取扱業務

- 反トラスト法、競争法及び独占禁止法業務
- 日本企業を代理した国際カルテル案件（日本、米国、欧州、台湾、中国、南アフリカ、カナダ、オーストラリア、ブラジル、インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール、韓国、インド、イギリス、メキシコ）
- 米国クラスアクション訴訟（反トラスト法訴訟、PL訴訟、証券訴訟、及び土壌汚染訴訟）
- 司法取引（米国及び日本）

主要実績

反トラスト法、競争法及び独占禁止法分野（近年のハイライトは以下の通り）

- United States v. KYB Corporation において Lead Counsel 及び刑事弁護人として、米国司法省との司法取引を担当する
- 東京地裁平成21年（わ）第2096号事件にて無罪判決を獲得
- 東京証券取引所第一部に上場している大手ゼネコンの入札談合事件において、公正取引委員会の審査及び審判の代理人を務める
- 国内建設業者の入札談合事件において、公正取引委員会の審査及び審判の代理人を務める
- ニューヨーク証券取引所に上場している化学薬品会社の国際価格カルテル事件について、公正取引委員会の審査及び審判の代理人を務め、クラスアクション（第一審及び控訴審）の訴訟チームの一員を務める
- ニューヨーク証券取引所に上場している国際的な自動車部品メーカーの国際価格カルテル事件について、公正取引委員会に対する課徴金減免申請及び審査代理人、米国司法省に対する訴追免除手続及び司法取引協定の交渉及び締結、連邦地方裁判所における有罪答弁手続、及びクラスアクション訴訟における訴訟チームの一員を務める
- 東京証券取引所第一部に上場している大手石油販売業者の入札談合事件において、公正取引委員会の審査及び審判の代理人、並びに刑事事件の弁護人を務める

ベーカー&マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)はベーカー&マッケンジー インターナショナルのメンバーファームです。ベーカー&マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)及びベーカー&マッケンジーインターナショナルのその他のメンバーファームは、日本においては弁護士法人ベーカー&マッケンジー法律事務所を通じて業務を提供します。専門的知識に基づくサービスを提供する組織体において共通して使用されている用語例に従い、「パートナー」とは、法律事務所におけるパートナーである者またはこれと同等の者を指します。同じく、「オフィス」とは、かかるいずれかの法律事務所のオフィスを指します。

© 2020 Baker McKenzie. All rights reserved.

**Baker
McKenzie.**

